



## 日本を救う「青島化現象」?

「決意」を告げられたとき、年甲斐もなく動転した、と正直に申し上げましょう。「東京社会部」というゴールは目前なのに、会社を辞める? それも転職先は南会津の酒造会社? 思わぬカミングアウトの主は、日ごろ取材でお世話になっていたNHK大阪放送局の女性記者です。28歳の若さ。初任地の福島で東日本大震災に遭遇、原発事故に苦しむ人々を目の当たりにし、観察者としての記者に限界を感じたようです。酒造会社の広報として被災地の食の復興にかかわりたいとのことでした。

「あたら才能を埋もれさせることにならないか」。新潟県長岡市の友人から「南会津は、会津でも秘境ですよ」との感想を聞いてからは説得にも熱が入りました。酒造会社には申し訳なかったのですが、「分別ください」と思われるような言葉を連ね、説得を試みましたが、当然、決意が揺らぐはずありません。8月末、勇躍、会津に旅立っていきました。

私たちの若い頃は、「末は博士か大臣か」とまではいわなくとも、多くの若者は「てっぺん」めざして、しゃにむに働きました。しかし、今は様子が違うようです。かつて「踊る大捜査線」という人気テレビドラマがありました。警察庁キャリアの室井慎次が、現場一筋の巡査部長・青島俊作との「約束」により警察の改革を進めていく物語です。私たちは体制側にせよ、反体制側にせよ、ある種、室井慎次だったのです。ところが、今の若者は室井さんが青島になろうとしているのです。私は、この現象を「若者の青島化」と呼ぶことにしました。

私の独断ですが、青島化現象の原点は1995年の阪神・淡路大震災にあるように思います。「ボランティア元年」といわれ、多くの若者が立身出世以外に生きる価値を探し始めました。そして2004年の新潟県中越地震。「よそ者、若者、バカ者」と呼ばれる社会現象が起きました。「よそ者」が被災地に入り、高度経済成長の中で置き去りにされてきた中山間地の良さを再発見しました。ボランティアの「若者」たちは、過疎地のお年寄りたちにお年寄りの持っている技術と知恵が「たいしたものだ」ということを気付かせました。「よそ者」である「若者」は、中山間地に住みついて、「バカ者」と呼ばれようと一心不乱、得にもならないことに取り組み、地域の人々に再起を促しました。この青島化現象が、新潟県の復興支援員制度に結びつき、総務省の地域起こし協力隊や東日本大震災での復興応援隊などに発展していったといえるでしょう。

内閣府が今年8月に発表した「農山漁村に関する世論調査」によりますと、都市部の20歳代の約4割が田舎への定住を希望したといえます。また、地域起こし協力隊に従事した若者の約6割が任務終了後もその地域に定住しているとのこと。いわて復興応援隊に従事している若者たちの前職は、システムエンジニア、コンサルタント、在外公館職員、新聞記者、銀行員、翻訳家など、都会や海外で活躍していた人たちです。決して行き場を失った「自分探し」の人たちではないのです。私たち団塊の世代は、社会の矛盾に「まなじり決して」挑もうとしていました。しかし、今の若者はしなやかに日本社会の矛盾のフタを開け、関わろうとしているようにも思えます。震災バネをテーマにした1月の全国被災地交流集会では青島化現象の若者たちも、ともに円卓を囲みます。官製の「地方創生」ではない、手作りの「被災地再生」を考える場にできればと願っています。(樹)

### 日本災害復興学会 会員募集中!!

ご入会ご希望の方は入会申込書に所定の事項をご記入のうえ、下記の学会事務局まで郵送にてお申し込みください。入会申込書は、日本災害復興学会のホームページ(<http://www.f-gakkai.net/>)よりダウンロードしていただくか、下記までご連絡いただき、お取り寄せください。

また、後日事務局よりお送りする専用振り込み用紙にて必要金額をご入金ください。

#### (1) 申込書送付先

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
関西学院大学災害復興制度研究所内  
日本災害復興学会事務局  
TEL: 0798-54-6996

(2) 入会金 3,000円

#### (3) 学会費(年額)

1) 正会員	7,000円	3) 購読会員	6,000円
2) 学生会員	3,000円	4) 賛助会員	一口: 50,000円

#### 西宮上ヶ原キャンパス

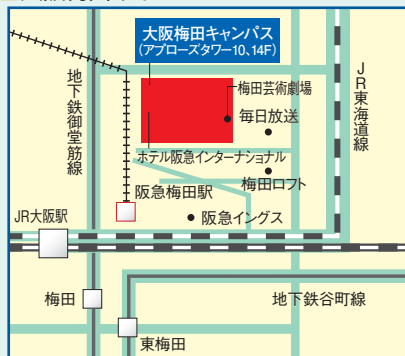
#### 西宮聖和キャンパス



#### 神戸三田キャンパス



#### 大阪梅田キャンパス



阪急梅田駅茶屋町口から北へ徒歩5分

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19  
アプローズタワー 14階  
TEL: 06-6485-5611

#### 関西学院東京丸の内キャンパス



JR東京駅八重洲北口から徒歩1分

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー 10階  
TEL: 03-5222-5678



**関西学院大学**  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY  
災害復興制度研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号  
TEL: 0798-54-6996 FAX: 0798-54-6997  
<http://www.kwansei.ac.jp>  
URL: <http://fukkou.net/> E-mail: [kgu\\_fukko2005@fukkou.net](mailto:kgu_fukko2005@fukkou.net)